

令和7年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和6年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	科学教育推進事業				事業番号	038-061	
担当部署名	教育委員会事務	局	教育センター	部	能力開発	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ～Children's future～		施策	(2) 子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進		
			有	取組の方向性	②新しい時代に必要となる資質・能力の育成					
		寄与するKPI	有・無	指標名	学力調査の堺市の平均値（全国を100とした場合）					
		有	現状値	小6 100.5、中3 95.8(2019年度)		目標値	小6 103.0、中3 100.0(2025年度)			
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに		ターゲット	4.1		
			有	取組	総合的な学力の育成					
		寄与するKPI	有・無	指標名	学力調査の堺市の平均値（全国を100とした場合）					
			有	現状値	小学6年：97.9、中学3年：96.9(2023年度)		目標値	小学6年：103.0、中3：100.0(2025年)		
2	関連計画			堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン						
3	事業開始年度			— 年度		点検対象年度		令和 7 年度		
4	実施根拠			教育公務員特例法 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 理科教育振興法						

事業の概要

5	事業の実施主体	出先機関		
6	事業の対象	小学校教員・中学校理科教員(約2,300人)、児童・生徒（約64,000人）、市民（約82万人）	対象数	単位
			約82万	人
7	事業の目的	教員の理科指導力の向上、児童生徒の理科に対する関心意欲の向上、市民の科学に対する意識の向上を目的とする。		
8	事業内容	・教員研修 教材研修、理科主任研修、理科授業づくり研修、スキルアップ研修、STEAM教育研修等の集合研修に加え、学校からの要請に基づき、学校へ指導主事を派遣し、指導助言をする。 ・堺市学校理科展覧会の開催 児童生徒及び教職員の理科研究を奨励し、研究交流の場として、研究物並びに製作物の展示・発表を行う。 ・小学校理科特別授業実施事業 関係団体の専門家を講師に招聘し、技術の実用事例を基にした内容で小学校理科特別授業を実施する。 ・科学催事「堺科学教育フェスタ」・市民科学講座の開催 ・堺サイエンスクラブ 小学校6年生を対象に、大阪公立大学の「未来の博士育成ラボラトリー」と連携した継続的な研究活動を通して、観察実験の技能・科学的思考力・プレゼン能力等の向上を図り、将来科学分野で活躍する人材を育成する。		
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—		
9	主な支出先	—		
10	公民連携・協働事業	大阪公立大学、市内企業		

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度
	「理科の授業の内容はよくわかりますか。 （当てはまる・どちらかといえば当てはまる）」と答えた生徒の割合	%	目標値	77	80	80	80
			実績値	83	77		
			達成率	108%	96%		
当該指標を選定した理由		教員の理科指導力が向上しているのかを、生徒の意識調査の結果で見取るため。					
目標値の設定根拠・算出方法		中学校2年生を対象とした意識調査の結果					

12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	教員研修の実施回数	回	目標値	100	110	110	
			実績値	126	124		
			達成率	126%	113%		
当該指標を選定した理由		教員の理科授業力の向上に向けて、教員研修の実施が有効な手立てであるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		教員研修計画に基づく集合研修及び学校訪問研修合計回数					

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	科学教育推進事業	事業番号	038-061
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	5,693	7,969	8,445	8,352	8,738
	財 源					
	国支出金	0	0	0		0
	府支出金	0	0	0		0
	市債	0	0	0		0
	その他（子ども教育ゆめ基金）	2,216	1,886	2,353	2,001	2,547
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0		0
14	人件費（b）	24,420	17,010	17,010	17,010	17,640
	一般財源	3,477	6,083	6,092	6,351	6,191
15	年間経費（c）=（a）+（b）	30,113	24,979	25,455	25,362	26,378

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R6	決算				R6	決算		
16	事業費内訳	会計年度任用職員報酬	R7 予算	4,075	4,075	費用弁償（通勤費）（会計年度任用職員）	R7 予算	416	416	
				4,109	4,109					
	科学催事事業	R6 決算	1,930	0	費用弁償（その他）	R6 決算	84	84		
		R7 予算	2,000	0		R7 予算	166	166		
	期末手当（会計年度任用職員）	R6 決算	855	855	その他	R6 決算	169	169		
		R7 予算	863	863		R7 予算	277	105		
	謝礼金	R6 決算	152	101		R6 決算				
		R7 予算	347	192		R7 予算				
	消耗品費	R6 決算	715	695		R6 決算				
		R7 予算	560	340		R7 予算				

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和5年度	令和6年度
17	① 教員研修の実施回数	回	126	124
	② 上記①にかかる年間経費	千円	13,033	12,543
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	103,437	101,153
算出についての説明等		人件費、講師謝礼金、消耗品費等をもとに算出		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	・経費を抑えつつ年間120回以上の研修を実施できている。一方で、成果指標の「理科の授業の内容はよくわかりますか。」の実績は、目標値を少し割り込んだ。引き続き、中学校においても、理科の本質である観察・実験を伴った問題解決・科学的に探究することができる授業をめざした教員研修を実施し、授業改善に取り組む。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	・令和5年度末に「堺STEAMブック」を作成した。以降、STEAM教育研修を実施することで、理科だけでなく総合的な学習の時間を中心に、教科等の横断、社会や地域とのつながり、STEAMの視点等をもった授業づくりについて継続的に研修ができ、子どもたちが学びの広がりや深まる取組を進めることができた。 ・集合研修や学校への授業訪問等を実施したことで、教員の専門性の向上に取り組むことができた。 ・全国児童才能開発コンテスト等全国レベルの作品展で、本市の児童生徒が多くの賞を受賞している。夏休み前の科学催事や堺サイエンスクラブの取組と夏休み後の理科展を連動させる仕組みを構築し、継続して取り組んできた成果として、教員だけでなく保護者や児童生徒の理科に対する興味・関心、意識の涵養に繋がっている。 ・科学催事参加者が質問紙に「来年も参加したい」と98.4%が回答していることから、産官学連携した取組が科学に対する意識の向上に繋がっている。
----	---